

校 報

姉川

〔校訓〕 進取創造 全校児童数 186名

〔学校教育目標〕

豊かな創造力と広い心で 未来を切り拓く たくましい子

令和5年2月1日(水)発行 No.13 文責 校長

長浜市立びわ南小学校 TEL 72-2003 Fax 72-4457

「教えてもらう力」を高めよう

新しい年になったと思っていたら、もう1か月がたってしまいました。本当に、日が立つのは早いものです。6年生は、卒業制作や校舎清掃作業、「ボランティアさんに感謝する会」への準備、また、卒業式の合唱曲決め等、小学校生活の締めくくりに向けていろいろ動き始めています。

1年生から5年生までは、「卒業を祝う会」の練習や、卒業生へのプレゼントの準備に取り掛かっています。いよいよ来月は、卒業生の門出です。

また、全ての学年の子どもたちが、本年度の学習のまとめに本格的に入っていきます。そこで、私から今日の全校朝会でこのような話をしました。「教えてもらう力」を高めよう、という話です。人間、誰も「わからない」「できない」ことを抱えています。当たり前であり、「何でもわかる、何でもできる」なんて完璧な人間なんてどこにもいません。「わからない」「できない」から、できるやり方を教えてもらうのです。教えてもらえることは幸せなことであり、教えてもらうことで自分が大きく成長できるのです。「わからない」のにわかったふりをするなんて、「できない」のにできるふりをするなんて、なんでもったいない！2学期に、ある学年の英語の勉強中、うまく英単語を見つけられた子を褒めたら、「違うで。今は、英語の先生がヒントくれやあたでできただけ。まだ、僕わかってないんやで。わからん単語いっぱいあるんや。」と素直に言った子がいました。私は、その子を大いに褒めました。そして、わからないことをわからないと言えることの素晴らしさを伝えました。

とはいえ、最初からあきらめて努力もせず、「わからない」「できない」は違います。それは、『甘え』です。自分でやってみて、努力しても「わからない」「できない」ことは、大いに「わからない」「できない」と声を挙げて、いろいろな人に教えてもらいましょう。

「教えてもらう力」が高い人は、どんどん伸びる人です。

まとめのこの時期、「教えてもらう力」を発揮して、自分の力をどんどん伸ばして、学年を締めくくりましょう！



創立150周年記念事業実行委員会活動報告

一昨年度から、今年11月4日（土）の創立150周年記念日に向けて実行委員会の皆さんが準備をしてくださっています。記念日当日の企画運営を主に担当してくださっている「アニバーサリー部会」、様々な記念日に関わる事業を主に担当してくださっている「事業部会」、協賛金のお願いを含めた運営費全般を主に担当してくださっている「運営費部会」、広報活動全般を主に担当してくださっている「広報部会」、実行委員長・副委員長・アドバイザー・監事・顧問で構成される「役員会」の皆様、それぞれが、記念事業が児童や地域の方々にとって思い出に残るものになるようにと、何度も協議をしてくださっています。

協賛金につきまして、保護者の皆様、地域の皆様にご協力をいただいております。活動の様子は、学校ホームページ内に、『創立150周年事業』のブログを設けていますので、どうぞ、ご覧ください。



昨年の『びわふるさと文化祭』
での特設展示



第9回実行委員会の様子



後援会費のご協力ありがとうございました。

今年度も、後援会費のご協力をいただき、ありがとうございました。皆様からいただいた後援会費で、運動会の花や、ワイヤレスアンプセット、抗菌セフティマット（屋内用）、BDプレイヤー、タイムタイマー等を購入させていただいています。効果的で円滑な教育活動の推進のため、今後も大切に使用させていただきます。依頼・集金作業にお世話になりました各字委員様、本当にありがとうございました。

